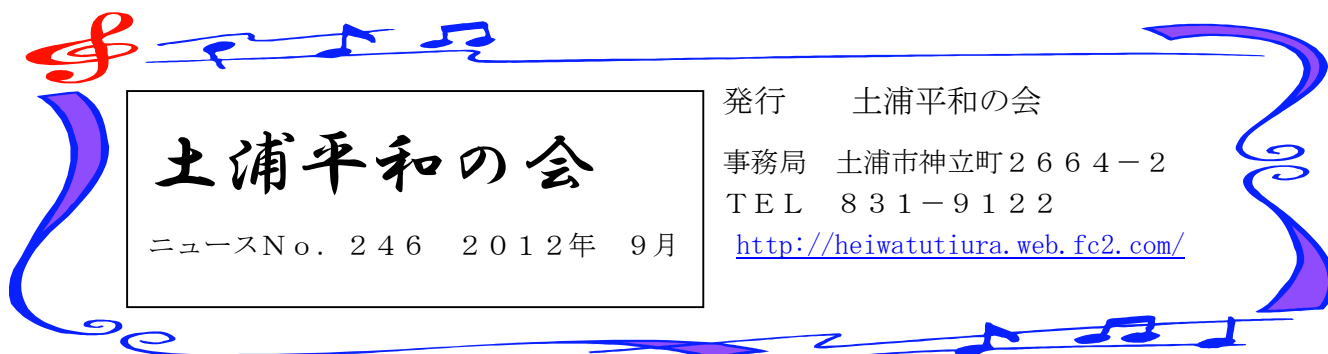


私たちの活動や意見を平和委員会のなかま たちに伝えます
 私たちの会費が日本平和委員会と茨城県平和委員会の活動を支えています



土浦平和の会

ニュースNo. 246 2012年 9月

発行 土浦平和の会

事務局 土浦市神立町2664-2

TEL 831-9122

<http://heiwatutiura.web.fc2.com/>

さよなら原発土浦地域連絡会が署名行動

「東海第2原発を廃炉にしよう」との署名行動を9月7日(金)午後3時半から、土浦駅のペデストリアンデッキで行いました。平和の会他16団体から18人が参加し、200筆の署名をいただきました。

次回統一行動は10月7日(日)14時からです

茨城医療人の会記念講演より (東神戸診療所 郷地 秀夫氏)

福島原発事故で解明されていない問題点

- * 広島原発は核爆発による放射熱(やけど)、爆風(建物の倒壊による圧死、けが)、残留放射能(放射性塵埃、飲料水、黒い雨による内部被曝)⇒急性障害、大量死、被害範囲が狭い
- * 福島原発事故は放射線粒子による内部被曝が中心である ⇒ 局所集中被曝
急性障害がない代わりに晩発性障害、染色体の損傷、遺伝的影響の恐れがある。
テルル132は半減期が短いけれども体内に入ると短時間に集中的に組織を損傷させる。
- * 福島原発事故は放射性物質の量が多いだけ(1万倍以上)被害範囲は広範囲

	福島原発(1~4号)	チェルノブイリ	広島原発
ウラン総量 (ウラン235)	870,000Kg (30,450Kg)	180,000Kg (3,600Kg)	64Kg (50Kg)
セシウム137	4.7Kg	26.56Kg	0.028Kg
ヨウ素131	0.0347Kg	0.3904Kg	0.0137Kg

放射線影響研究所(放影研)寿命調査第14報によると

放射線に安全な線量はない

少量でもその量に比した発がん性がある それは年々増加する
 30歳で1シーベルト被曝すると通常のがん死の1.5倍
 子どもは30歳のリスクの5倍とすれば1000人に7.5人が過剰死する。

被曝影響解明はまだ5%程度(放射線影響研究所大久保利晃理事長)

今後長期にわたってどのような種類の影響が出るのか、どれくらいの頻度で出るのか見ていかなければならない

福島支援ツアー(26・27日)55人参加で行ってきます

平和の会ニュース、平和かわら版(PDF版)配信しています
 平和のなかまに伝えたいニュースやご意見を事務局にお寄せください FAXは029-831-9122
 早い、確実に届くご希望の方はeMailアドレスご連絡ください

私たちの活動や意見を平和委員会のなかま たちに伝えます
私たちの会費が日本平和委員会と茨城県平和委員会の活動を支えています

原爆と原発

原発で作られるプルトニウムは原爆の原料である

アメリカが原発を日本に持ち込んだ本当の目的が何か最近になって明らかになった。

米政府の解禁文書によって、ビキニ被曝事件以来の日本の「核アレルギー」を和らげるためであったということが明らかになった。それは米国による核持ち込みだけでなく、日本の核武装にも道を開く長期的な戦略でもあった。

原発で作られるプルトニウムは原爆の原料になる。日本が自前の原爆を持つためには原発が必要なのだ。

安全神話が崩壊した今こそ原発ゼロへ

1、火山列島の日本に絶対安全な立地はない。

- ① 国会事故調の福島原発報告書は、原子炉冷却の非常用交流電源が地震によって喪失した可能性を指摘している。
- ② 原子力安全基盤機構は、原子炉容器内の配管に生じた亀裂により冷却材が漏れてなくなる事故の可能性を指摘している
- ③ テレビ番組「NHKスペシャル」は圧力容器の圧力逃し弁操作のための配管が破損してベントできなかつたと報じている。

これらの事実は「想定外」という言葉では納得できるものではない。

2、使用済燃料の処理ができない

日本中の原発の使用済燃料貯蔵プールが満杯になっても再処理の見込みが立っていない。

- ① 再処理施設が完成しない。②高速増殖炉「もんじゅ」が完成の見込みがない。
- ③再処理燃料(プルトニウム)の利用計画が立てられない。④最終の核廃棄物の処理もできない。

3、老朽化した原発を廃炉にしたものを管理するのが大問題

発電をやめた原発は経営上マイナス資産である。原発を今後も作り続けることは将来的にマイナス資産を増やし続けることです。この責任を誰が取るのか。国民の負担を増やすだけです。

4、ストレステストは机上の作文

東海第2原発のストレステスト結果が報告されたと報道されました。津波対策は1.87倍の補強で15m、地震対策は想定地震動600ガルの1.73倍補強で1000ガルまで対応できるとしているが、何時この補強を完了できるのかわからないにもかかわらずこれで安全であるかのように誤解されてしまう。東海原発は北と南にある活断層の連動の可能性が指摘されているがストレステストはこの対策は含まれていない。予想される膨大な対策費をつぎ込むのはムダ遣いというほかありません。

井上 記

恒例の会の「平和の旅」を計画中(11月に、神奈川県へ);乞う、ご期待

活動ごよみ

9. 7 東海第2原発廃炉署名統一行動	9・26~27 福島被災地応援ツアー
9. 8 県平和委員会理事会	10. 7 14時~ 原発廃炉署名統一行動
9・18 平和の会理事会(コープ)	10・13、14 母親大会 in 新潟

平和の会ニュース、平和かわら版(PDF版)配信しています

平和のなかまに伝えたいニュースやご意見を事務局にお寄せください FAXは029-831-9122
早い、確実に届くご希望の方はeMailアドレスご連絡ください